

大阪府消費者フェア 2015
「あなたも食の安全まもり隊！～食中毒予防クイズ～」
クイズ&アンケート集計結果

アンケート実施日：平成 28 年 2 月 20 日（土）

参加者数：149名

回答者数：149名

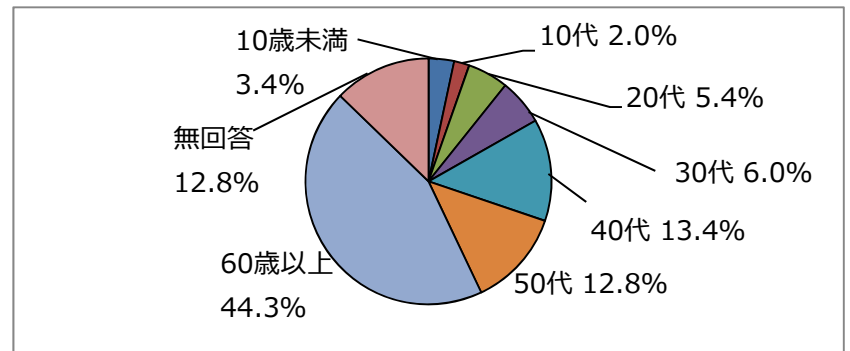
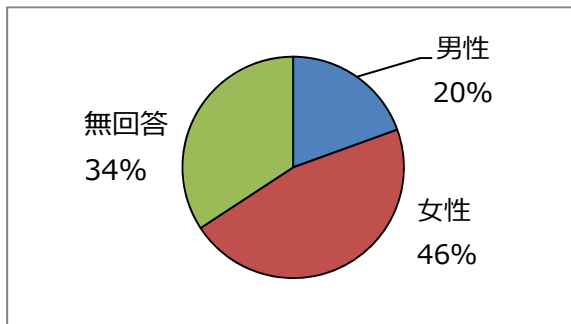
消費者フェア 2015 に来場された 149 名の方にクイズ&アンケートを実施しました。

クイズでは、手洗いの手順や焼肉を食べる際に気を付けたい食中毒予防ポイントについて確認していただき、アンケートでは、大阪版食の安全安心認証制度や食の安全安心メールマガジンについての認知度などの調査にご協力いただきました。

あなたの性別・年齢を教えてください。

性別

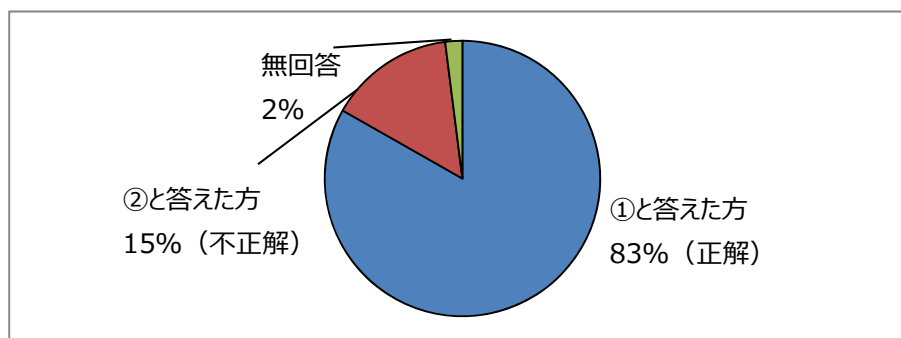
年齢



【選択クイズ】

Q1.正しい手洗いの方法は？

- ①せっけんを使って十分に洗う→清潔なタオルでよく拭く→アルコール消毒液をつけてこする
- ②せっけんを使って十分に洗う→アルコール消毒液をつけてこする→清潔なタオルでよく拭く

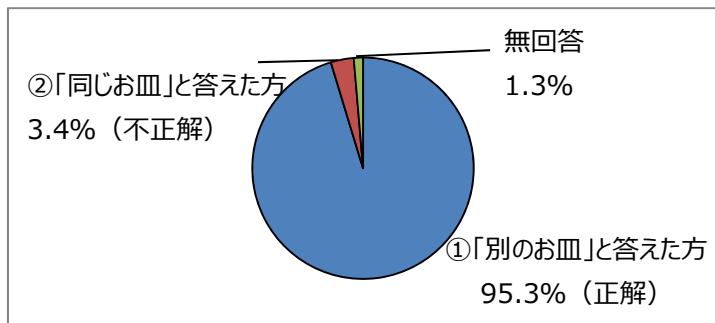


正解は「①せっけんを使って十分に洗う→清潔なタオルでよく拭く→アルコール消毒液をつけてこする」です。

およそ 80%の方が正解された一方で、15%の方が不正解を選ばれていました。手洗いは食中毒予防の基本であり、その手順についても大切なポイントとなるため、今後も引き続き周知していく必要があると思われます。

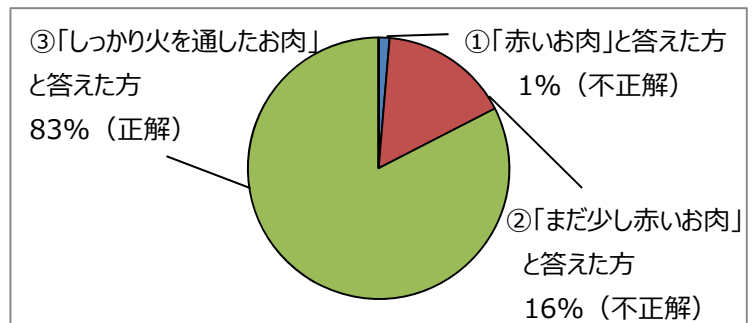
Q2 お肉と野菜の盛り付け方はどちらが良い？

- ①お肉と野菜を別のお皿に盛る
- ②お肉と野菜を同じお皿に盛る



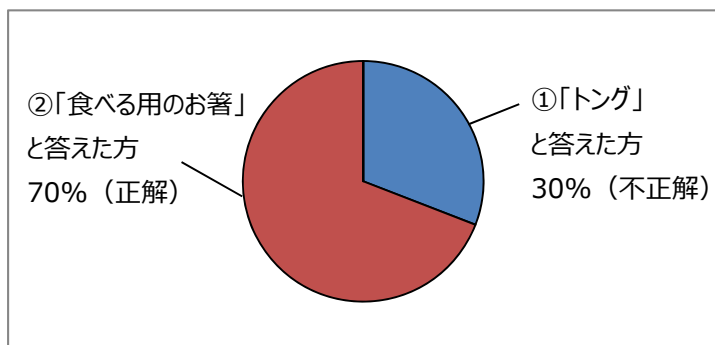
Q3 食べ頃のお肉はどれ？

- ①赤いお肉
- ②軽く火であぶった少し赤みの残ったお肉
- ③しっかり火を通し色が変わったお肉



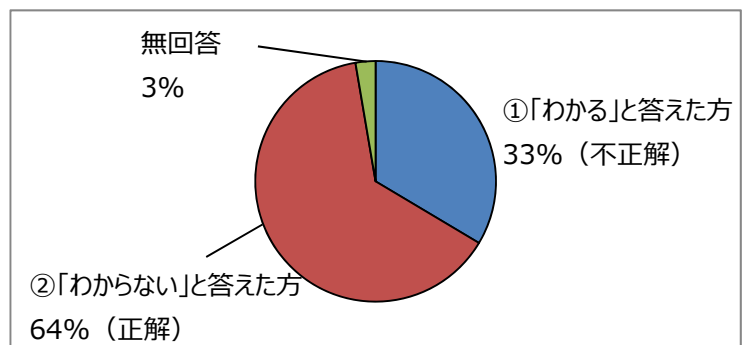
Q4 焼きあがったお肉はどちらで取る？

- ①お肉を焼いたトング
- ②食べる用のお箸



Q5 食中毒菌が増えていると、食品の見た目、臭い、味の変化でわかる？

- ①わかる
- ②わからない



正解は Q2 が「①お肉と野菜を別のお皿に盛る」、Q3 が「③しっかり火を通し色が変わったお肉」、Q4 が「②食べる用のお箸」、Q5 が「②わからない」です。

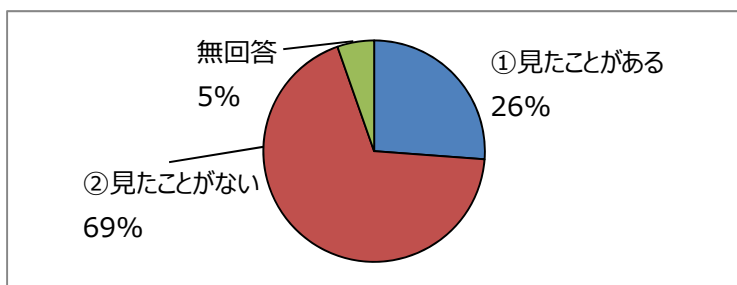
Q2 は多くの方が正解されていました。Q3 もおよそ 80% と多くの方が正解されましたが、中には「しっかり焼いた方が正解だと思うけど、少し生であるくらいが自分の好み」とおっしゃる方もいらっしゃいました。Q4 及び Q5 はどちらもおよそ 30% の方が不正解を選んでしまい、他のクイズに比べて、少し難しかったようです。

どんなにしっかり焼いたお肉でも、生のお肉に使用したお箸やトングで取ることで、焼きあがったお肉に食中毒菌が付着してしまうかもしれません。また、食中毒菌が増えているかは見た目、臭いなどの感覚だけで判断するのは危険です。これらのことは今後も食中毒予防ポイントとして、引き続き啓発を行っていくべき重要な点だと思われます。

【大阪版食の安全安心認証制度に関するアンケート】

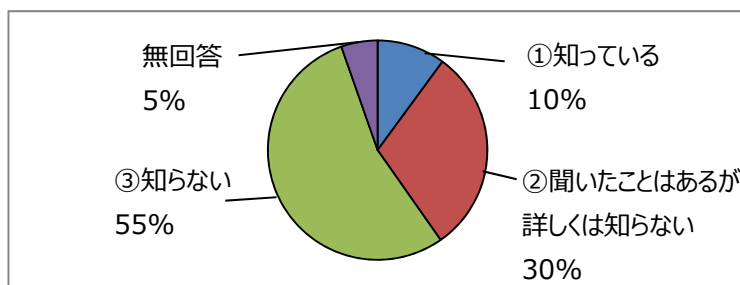
Q1 この制度の認証マークを見たことがありますか。

- ①見たことがある
- ②見たことがない



Q2 この制度を知っていますか。

- ①知っている
- ②聞いたことはあるが、詳しくは知らない
- ③知らない

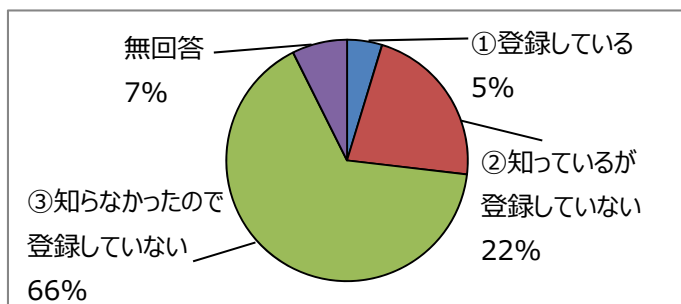


認証マークを「見たことがある」方は 26%、またその制度について「知っている」方は 10% であり、どちらも「見たことがない」「知らない」の割合が、「見たことがある」「知っている」を上回る結果となりました。このことより、これからもっと多くの方に認証マークや制度について知っていただけるよう、イベントや講習会等を通じて周知していく必要があることがわかりました。

【食の安全安心メールマガジンに関するアンケート】

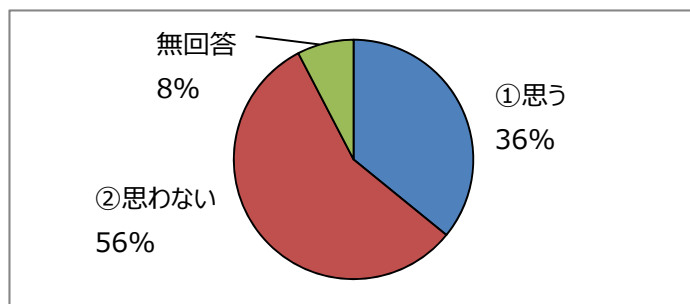
Q1 このメールマガジンに登録していますか。

- ①登録している
- ②知っているが登録していない (Q2 へ)
- ③知らなかったため登録していない (Q2 へ)

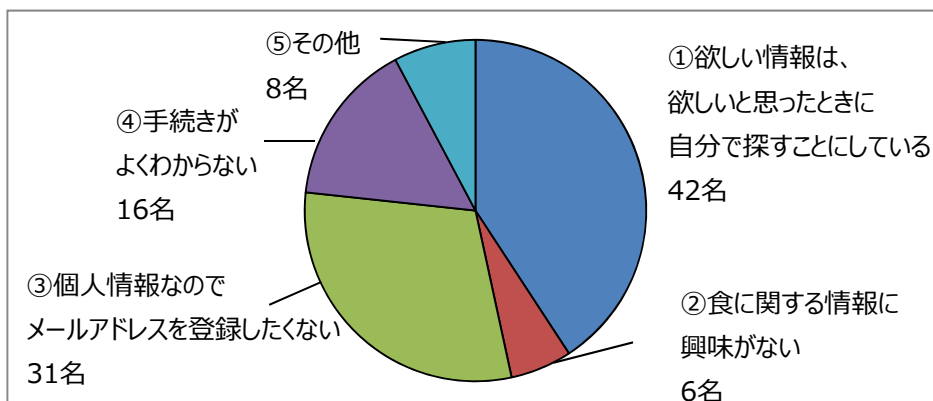


Q2 (Q1 で登録していないと答えた方) 登録してみたいと思いますか。

- ①思う
- ②思わない (Q3 へ)



Q3 (Q2 で思わないと答えた方) 「思わない」と答えた理由を教えてください。(複数選択可)



食の安全安心メールマガジンについて、来場されたおよそ80%の方が本メールマガジンに登録されていない方々でした。その中で「登録してみたい」方は36%、「登録しようとは思わない」方が56%という結果になりました。また、「登録してみようと思わない」方のうち、その理由について1番多かったのは「欲しい情報は、欲しいと思ったときに自分で探すことにしている」、2番目は「個人情報なのでメールアドレスを教えたくない」、3番目は「手続きがよくわからない」を選ばれていました。

今後は、登録を希望された方々に魅力的とだけ思ってもらえるようなメールマガジンを配信するとともに、さらに多くの方に登録していただけるよう引き続き周知していく必要があると思われました。